

※第2回審議会資料

まちづくりの方向性

目的

第3次基本構想の策定から20年が経過し、この間、地球規模での気候変動をはじめ、我が国では成熟社会としての歩みを進める中、少子高齢化が進展するなど、時代は大きな転換期を迎えています。

豊島区においても、転入転出の動向や世帯構成の変容に加え、将来人口など様々な変化を見極めながら、持続可能なまちを実現しなければなりません。

基本構想は、豊島区が「こうありたい」という将来のまちの姿を描き、その基本となる考え方や方向性を示す最高指針です。これまでの基本構想の精神を引継ぎながら、時代や区民ニーズの変化を的確に捉えつつ、将来の豊島区を取り巻く環境を見据えた、中長期的なまちづくりの羅針盤です。

ここに掲げる「理念」や「まちづくりの方向性」は、持続可能な都市として豊島区の新時代を切り拓く、未来につながり発展するための、区民や事業者をはじめ区に関わるすべての主体にとっての共通の指針となるものです。

期間 基本構想の期間は、令和7年4月から概ね**10年**とします。

理念

「理念」とは、基本構想全体を貫く、まちづくりの基本的な考え方や行動指針です。豊島区にかかわるすべての人と共有する「理念」として、以下の3つを掲げます。

(1) みんながつながり、みんなで作る

- これまでの豊島区の軌跡と、これからの歩みを「つなぐ」とともに、先人たちが築き上げてきた資産を継承し、発展させ、区の歴史と伝統を紡ぎます。
- 声なき声にも耳をすませ、子ども・女性・高齢者・障害のある人・外国人をはじめあらゆる人の声を受け止め、困っている人に声をかけあい、全ての声が「つながる」、誰一人取り残さないまちをつくります。
- 区民、地域社会、企業、団体などすべての主体が「つながり」、参画と協働による**みんなで作る**共創社会や未来に「つながる」持続発展するまちを目指します。

(2) だれもがいつでも主役

- だれもが平和を享受し、年齢、ジェンダー、国籍、心身の状況、意見や価値観の違いなどの多様性を認め、尊重し合い、**区民一人ひとり**が幸せを感じ、あらゆるライフステージで活躍できる「住みたい、住み続けたい、訪れたい」まちを実現します。

(3) 「としまく」らしさがあふれる

- 特色のある地域が集積し、多彩な人々が集い、人の流れやまちの変化を柔軟に受け入れ、さらなる発展につなげる文化を育む、日本一の高密都市である**豊島区らしさ**を最大限に活かしながら、誰もが地域に愛着を持ち、誇れるまちとして首都東京を牽引しながら豊島区は力強く発展し続けます。

今回新規提示

基本構想の実現に向けて

「めざすべきまちの姿」を実現するには、安定した財政を基盤に、限りある経営資源を最大限活用し、持続可能な行政経営を実現しなければなりません。デジタルガバメントの推進、情報発信の強化、組織を横断した事業展開、職員定数の適正化、公共施設のマネジメント等に取り組み、刻々と変化する地域課題や中長期的な課題にも対応可能な、柔軟かつ効率的な行政運営を目指します。

また、基本構想を実現するために、豊島区の計画体系の最上位に位置する区政運営の基本的指針となる「豊島区基本計画」と、基本計画に示した施策を具体的な事業に結び付け、実行するための年次計画を策定し、着実に施策や事業を推進します。

(概念図) 理念とまちづくりの方向性について

みんなをつなげる
みんなでつくる

3つの理念

誰もがいつでも
主役

「としま」らしさを
生かす

まちづくりの方向性

<ul style="list-style-type: none"> 人口密度日本一 在住外国人の増加 コミュニティの希薄化 首都直下地震 	<ul style="list-style-type: none"> 消滅可能性都市 低水準の出生率 核家族化の進行 共働き世帯の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの貧困・DV・居場所の不足 ヤングケアラー 不登校、特別支援 	<ul style="list-style-type: none"> マンガアニメ、コスプレ 舞台芸術、伝統芸能 国内外からの来街者 集積する民間企業 	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者 障害者の重度・高齢化 孤独、孤立 8050問題 	<ul style="list-style-type: none"> 人生100歳時代 コロナ禍の意識変化 若者検診受診低下 健康危機管理 	<ul style="list-style-type: none"> 緑・公園が少ない 気候変動 SDGs未来都市 ごみの適正排出 	<ul style="list-style-type: none"> ターミナル駅池袋 都市再生 回遊性の不足 バリアフリーの向上
<ul style="list-style-type: none"> 地域区民ひろば 不燃化特区の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 切れ目ない支援 待機児童ゼロ 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの権利擁護 インクルーシブ教育 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ブランド強化 地域産業の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域共生社会推進 社会参加の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 心と体の健康づくり 新保健所の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ゼロカーボン戦略 3Rの推進 	<ul style="list-style-type: none"> 地域拠点の再生 池袋周辺4つの公園
<ul style="list-style-type: none"> 防災・減災 治安対策 地域コミュニティ 住環境 	<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子保健 子育て支援 	<ul style="list-style-type: none"> 教育 子どもの権利 若者支援 社会的養護 	<ul style="list-style-type: none"> 文化振興 観光 商店街振興 産業振興 生涯学習 	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉 自立生活支援 権利擁護 	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療 健康 保健衛生 スポーツ 	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会 気候変動・脱炭素 生活環境保全 	<ul style="list-style-type: none"> 都市再生 地域整備 道路・交通 景観 公園・緑地
<p>1 共に支え合う 安全・安心の まち</p>	<p>2 ぬくもりのある 子育てしやすい まち</p>	<p>3 子ども・若者 が自分らしく 成長できるま ち</p>	<p>4 多彩な文化と 産業で賑わい にあふれるま ち</p>	<p>5 誰もが地域で 共に暮らせる 福祉のまち</p>	<p>6 生涯にわたっ て健康で輝け るまち</p>	<p>7 共につくる地 球にも人にも やさしいまち</p>	<p>8 誰もが居心地 の良い歩きた くなるまち</p>

「スポーツ」は第2回審議会でのご意見を踏まえ、生涯学習と別立てとします。

「理念」と「まちづくりの方向性（素案）」

理念

1. 誰もがいつでも主役

声なき声にも耳をすませ、誰もが平和を享受し、ジェンダーをはじめ、年齢、国籍、心身の状況、社会的・経済的状況、意見や価値観の違いなどの多様性を認め尊重し合い、区民一人ひとりが幸せを感じ、あらゆるライフステージにおいて健康で自分らしく過ごせるまちを実現します。

2. みんなをつなげる、みんなでつくる

誰一人取り残さず、子どもから高齢者まであらゆる人をつなげ地域課題の解決にあたるとともに、地域団体、民間企業、他の地方自治体など多様な主体と協働の輪を広げ、みんなでつくる共創社会や、自律的な好循環が生まれる持続発展するまちを目指します。

3. 「としま」らしさを生かす

多様な表情を持つ高密都市において先人達が創造してきた地域に息づく文化や歴史を継承し、地域の個性を生かして魅力をさらに高めます。安全・安心で賑わいあふれる居心地の良い都市空間の中で、未来を担う子どもたちを地域全体で育み、「住みたい、住み続けたい、訪れたい」誇れるまちとして、力強く発展し続けます。

まちづくりの方向性

【凡例】 ○背景や地域特性などを包括的に記載したもの
◆取組の大きな方向性を包括的に記載したもの

1 共に支えあう安全・安心なまち

○日本一の高密都市、有数の繁華街を有する本区は、多様な人々が住み、訪れ、行き交います。
◆地域で安心して生活できるよう、地域コミュニティの活性化をはじめ、災害・治安や住環境などへの対策を、ハード・ソフトの両面から講じ、安全・安心なまちづくりを進めます。

2 めぐもりのある子育てしやすいまち

○消滅可能性都市の克服を持続発展に繋げるためには、さらに質の高い子育て環境が必要です。
◆切れ目のない支援により安心して子どもを産み、育てることができる環境をつくり、誰もが一人で悩むことなく子育てを行い、子どもがのびのびと育つまちづくりを進めます。

3 子ども・若者が自分らしく成長できるまち

○「誰もがいつでも主役」の実現には、特に声の届きにくい子ども・若者目線のまちづくりが重要です。
◆子ども・若者の声を聴き、寄り添い、一人ひとりの権利が尊重され、将来への希望をもって自分らしく成長できるまちづくりを進めます。

4 多彩な文化と産業で賑わいあふれるまち

○多彩な企業の集積、マンガ・アニメ等文化の継承・創造は、まちが持続発展する生命線です。
◆地域産業の活性化を図るとともに、首都東京を牽引する国際文化都市として、人・アート・カルチャーが交差する賑わいあふれるまちづくりを進めます。

5 誰もが地域で共に暮らせる福祉のまち

○単身世帯が増え続ける本区では、孤独・孤立対策など、よりきめ細かな支援が求められています。
◆誰もが自分らしく歳を重ね、住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられるよう、本人が望む社会とのつながりや自立生活を支えるまちづくりを進めます。

6 生涯にわたって健康で輝けるまち

○コロナ禍を経験し、人生100歳時代を迎える今、自ら健康を守り育む環境づくりが求められます。
◆こころと体の健康な生活を維持・増進するとともに、スポーツに親しむことのできる環境を整備し、誰もがライフステージに応じて健康な生活を送れるまちづくりを進めます。

7 共につくる地球にも人にもやさしいまち

○高密都市だからこそ、より限られた資源の有効活用、環境負荷の低減、緑を守る責任があります。
◆多様な主体が相互に協力しながら都市の緑を育み、清潔で美しいまちを創出するとともに、脱炭素地域社会づくりを推進し、良好な環境を次世代へ引き継ぐためのまちづくりを進めます。

8 誰もが居心地の良い歩きたくなるまち

○交通結節点の池袋を起点とした、誰もが安心して楽しめる街づくりが喫緊の課題です。
◆次世代に誇れる魅力ある都市を創出するとともに、池袋駅を中心に各地域の魅力あるスポットを結び付け、区内全体を回遊性が高く、誰でも安全で歩きやすいまちづくりを進めます。